

第137回 日商簿記検定試験 2級 工業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第4問

1. 材料費・労務費・経費

(1) 材料費

120,000円（期首）＋9,880,000円（当期仕入高）－150,000円（期末）＝9,850,000円

または

8,295,000円（直接材料費）＋1,555,000円（間接材料費）＝9,850,000円

(2) 賃金

① 直接労務費（直接工賃金）

3,815,000円（直接工賃金支払高）－200,000円（直接工賃金の期首未払高）＋220,000円（直接工賃金の期末未払高）＝3,835,000円

② 間接労務費（間接工賃金）

545,000円（間接工賃金支払高）－100,000円（間接工賃金の期首未払高）＋80,000円（間接工賃金の期末未払高）＝525,000円

③ 合計

3,835,000円＋525,000円＝4,360,000円

(3) 給料

290,000円（給料支払高）－40,000円（給料の期首未払高）＋50,000円（給料の期末未払高）＝300,000円

(4) 労務費

4,360,000円（賃金）＋300,000円（給料）＝4,660,000円

(5) 経費

1,500,000円（水道光熱費）＋1,200,000円（保険料）＋2,400,000円（減価償却費）＋290,000円（その他）＝5,390,000円

(6) 合計

9,850,000円（材料費）＋4,660,000円（労務費）＋5,390,000円（経費）＝19,900,000円

2. 製造間接費配賦差異

(1) 予定配賦額

3,835,000円（直接労務費）×200％＝7,670,000円

(2) 実際発生額

1,555,000円（間接材料費）＋525,000円（間接工賃金）＋300,000円（給料）＋5,390,000円（経費）＝7,770,000円

(3) 製造間接費配賦差異

7,670,000円（予定配賦額）－7,770,000円（実際発生額）＝△100,000円（借方差異）

よって、製造原価報告書において、100,000円を減算する。

3. 当期総製造費用

19,900,000円（材料費・労務費・経費の合計）－100,000円（製造間接費配賦差異）＝19,800,000円

4. 仕掛品勘定の金額

(1) 前期繰越

200,000円（仕掛品の期首有高）

(2) 直接労務費

3,835,000円（解説1. (2)①の直接労務費）

(3) 製造間接費

7,670,000円（解説2. (1)の製造間接費の予定配賦額）

(4) 当期完成高

19,700,000円（答案用紙の製造原価報告書の当期製品製造原価）

(5) 次期繰越

300,000円（仕掛品の期末有高）

第5問

1. 生産データの整理（単位：個、かつこは加工換算数量）

X製品		Y製品	
月初仕掛品 500 (200)	完成品 2,500 (2,500)	月初仕掛品 0 (0)	完成品 1,800 (1,800)
当月投入 2,600 (2,660)	月末仕掛品 600 (360)	当月投入 1,800 (1,800)	月初仕掛品 0 (0)

2. 加工費の実際配賦

(1) X製品

2,625,000円（当月の加工費）× $\frac{405\text{時間（X製品）}}{405\text{時間（X製品）} + 220\text{時間（Y製品）}}$ ＝1,701,000円

(2) Y製品

2,625,000円（当月の加工費）× $\frac{220\text{時間（Y製品）}}{405\text{時間（X製品）} + 220\text{時間（Y製品）}}$ ＝924,000円

(3) X製品の加工費合計

129,400円（月初仕掛品原価）＋1,701,000円（当月製造費用）＝1,830,400円

3. 月末仕掛品原価及び完成品原価

(1) X製品の月末仕掛品原価

① 直接材料費

2,821,000円（直接材料費の合計）× $\frac{600\text{個（月末）}}{2,500\text{個（完成品）} + 600\text{個（月末）}}$ ＝546,000円

② 加工費

1,830,400円（加工費の合計）× $\frac{360\text{個（月末）}}{2,500\text{個（完成品）} + 360\text{個（月末）}}$ ＝230,400円

(2) X製品の完成品総合原価

① 直接材料費

2,821,000円（直接材料費の合計）－546,000円（月末仕掛品原価）＝2,275,000円

- ② 加工費
1,830,400円（加工費の合計）－230,400円（月末仕掛品原価）＝1,600,000円
- ③ 合計
2,275,000円（直接材料費）＋1,600,000円（加工費）＝3,875,000円

(3) Y製品の完成品総合原価

- ① 加工費
924,000円（当月製造費用）
- ② 合計
1,545,000円（直接材料費）＋924,000円（加工費）＝2,469,000円

4. 損益計算書

- (1) 月初製品棚卸高
649,000円（X製品）＋271,000円（Y製品）＝920,000円
- (2) 当月製品製造原価
3,875,000円（X製品）＋2,469,000円（Y製品）＝6,344,000円
- (3) 月末製品棚卸高
 - ① X製品
$$\{649,000\text{円（月初）} + 3,875,000\text{円（当月完成）}\} \times \frac{500\text{個（月末製品）}}{400\text{個（月初製品）} + 2,500\text{個（当月完成品）}} = 780,000\text{円}$$
 - ② Y製品
$$\{271,000\text{円（月初）} + 2,469,000\text{円（当月完成）}\} \times \frac{300\text{個（月末製品）}}{200\text{個（月初製品）} + 1,800\text{個（当月完成品）}} = 411,000\text{円}$$
 - ③ 合計
780,000円（X製品）＋411,000円（Y製品）＝1,191,000円
- (4) 売上原価
920,000円（月初）＋6,344,000円（当月）－1,191,000円（月末）＝6,073,000円
- (5) 売上総利益
7,520,000円（売上高）－6,073,000円（売上原価）＝1,447,000円